

(別紙)

## 第1期指定管理(平成18年9月～平成21年3月)

目標指標		20年度 目標値	20年度 実績
利用者トータル数(人) (a+b)		44,000	55,601
施設利用者 数(人)	屋外一般利用者数(人)	3,500	5,479
	屋内一般利用者数(人)	25,000	25,508
	団体利用者数(人)	6,000	5,226
	<b>施設利用計(人) (a)</b>	<b>34,500</b>	<b>36,213</b>
団体利用数 (団体)	団体研修利用団体数(団体)	380	367
	出前研修利用団体数(団体)	40	64
	利用団体数 計(団体)	420	431
地域活動事 業(回)	出前研修	40	43
	地域啓発活動	12	21
	地域活動計	52	64
地域活動事 業(人)	出前研修	4,500	6,073
	地域啓発活動	5,000	13,315
	<b>地域活動計 (b)</b>	<b>9,500</b>	<b>19,388</b>
ホームページアクセス回数(回)		13,400	17,129
ホームページ更新回数(回)		10	22
広報誌の発行回数(回)		4	5
施設を利用した県民へのPR事業の実施回数(回)		2	2
交通事故情報等の収集・分析等を行い、調査研究をする回数(回)		2	2
利用者満足度(%)		95	96.8
利用後の意識の変化度(%)		98	
研修受講直後アンケートによる			98
2回目受講者アンケートによる			98
研修センター見直し検討委員会回数(回)		1	1

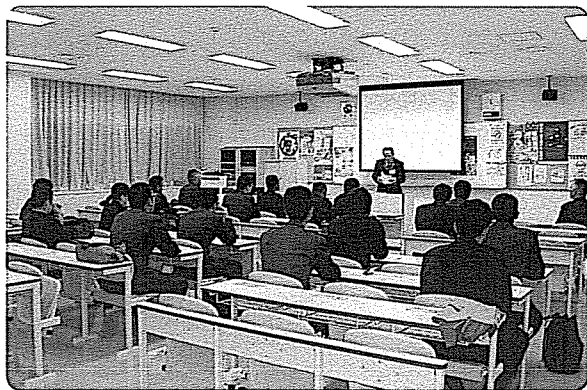
## 第2期指定管理(平成21年4月～平成24年3月)

目標指標		22年度 目標値	22年度 実績	21年度 目標値	21年度 実績
利用者トータル数(出前研修除く)(人) (a+b)		40,000	40,531	40,000	41,411
施設利用者 数(人)	屋外一般利用者数(人)	6,350	4,451	6,400	5,199
	屋内一般利用者数(人)	27,000	30,503	27,000	30,600
	団体利用者数(人)	6,150	4,908	6,100	5,020
	施設利用計(人) (a)	39,500	39,862	39,500	40,819
団体利用数 (団体)	高齢者研修利用者数(人)	400	413	380	438
	福祉団体研修利用者数(人)	200	205	170	294
	高齢者・福祉団体利用計(人)	600	618	550	732
	団体研修利用団体数(団体)	300	344	300	343
指導者養成資質向上事業(人) (b)		500	669	500	592
指導者養成資質向上事業(回)		20	41	20	38
地域活動事業回数 (回)	出前研修(回)	30	59	30	60
	地域啓発活動(回)	6	39	6	33
	地域活動計(回)	36	98	36	93
地域活動事業 (人)	出前研修(人)	1,350	6,998	1,350	5,880
	地域啓発活動(人)	4,250	17,890	4,250	17,462
	地域活動計(人)	5,600	24,888	5,600	23,342
ホームページアクセス回数(回)		13,500	16,957	13,500	17,400
ホームページ更新回数(回)		10	41	10	31
広報誌の発行回数(回)		4	4	4	4
施設を利用した県民へのPR事業の実施回数 (回)		2	3	2	4
指導者研修追跡調査回数(回)		1	1	1	0
交通事故情報等の収集・分析等を行い、調査 研究をする回数(回)		1	1	1	1
利用者満足度(%)		95	95.8	95	95.8
利用後の意識の変化度(%)		98		98	
研修受講直後アンケートによる			98.0		97.8
2回目受講者アンケートによる			99.7		99.9
事業評価検討委員会回数(回)		1	1	1	1
交通安全手法研究会(回)		1	1	1	1

# 研修内容のご紹介



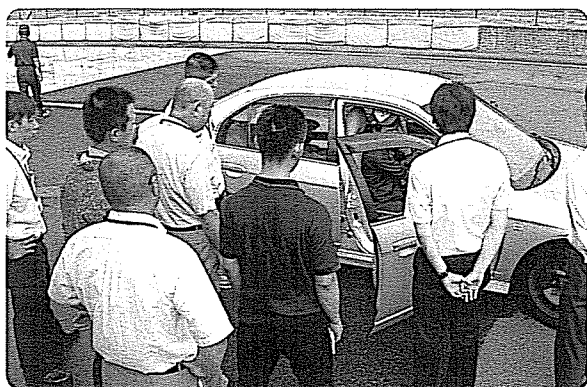
午前…9時30分～12時00分 午後…13時30分～16時00分  
※ 研修時間及び内容については、ご要望に応じてカリキュラムを作成いたします。



○ 交通安全講話・ビデオ上映（視聴覚室）○  
交通事故の発生状況、運転者の心構え等。  
〔所要時間 約30分〕



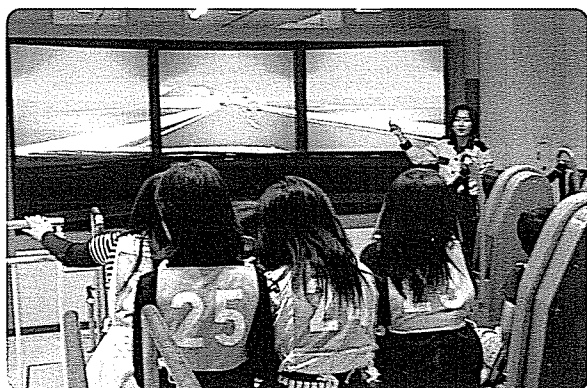
○ 危険予測と緊急回避模擬体験（シミュレータ室）○  
高齢者及びドライバーを主な対象とし、自分の運転特性を認識できる機材により、自身の運転傾向を確認しましょう。  
〔所要時間 約20分〕



○ 自動車体験コース（屋外施設）○  
滑りやすい路面での急ブレーキ体験、狭路走行、スラローム走行、安全運転基本チェック等を行います。  
〔所要時間 約60分〕



○ 歩行・自転車研修（屋外交通公園）○  
安全な歩行、正しい自転車の乗り方等を屋外模擬コースを使って学習。ダミー人形を使った飛出し実験等を行います。  
〔所要時間 約60分〕



○ 四輪事故体験シミュレーション（展示ゾーン）○  
大型画面でのよくある交通事故の状況と対策を学習します。  
〔所要時間 約20分〕



○ 白バイ“白鷹”展示コーナー（展示ゾーン）○  
見て・触れて・記念写真を撮ろう！

聞く・見る・体験ある

## 交通安全研修のご案内

三重県交通安全研修センターでは、「聞く・見る・体験する」をキーワードに、さまざまな対象の皆さんに応じた交通安全研修を実施しており、多くの企業、官公庁、団体、学校等が利用されています。

一般のドライバーの皆さんには、交通事故防止に向けての講話・視聴覚、シミュレーター機器を使用して危険予測や緊急回避を考える研修、実際に車に乗車しての狭路走行や急制動での危険回避、スラロームでのハンドル操作、滑りやすい路面でのブレーキ操作等を体験していただき、事故を防止するためにどうしたらよいかを身をもって考えていただく研修を行います。

また、高齢者の皆さんや子供たちには、安全な歩行や自転車の乗り方についての研修も準備しています。

**研修センターでの研修は、すべて無料です！！**

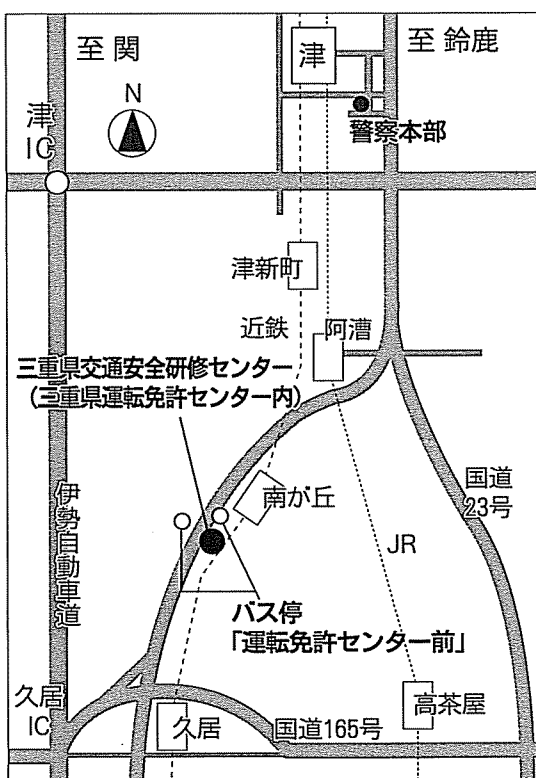
### ① 研修できる日と時間

月曜日から金曜日まで、通常午前又は午後の2時間30分程度、指導者向け研修は3時間程度、祝祭日・年末年始はお休みです

### ② その他

- ・このような内容に重点をおいてほしいというご要望があれば、対応可能なものについてはご相談に応じます。
- ・ホームページで、予約状況がご覧いただけます。

<http://www.safetyplaza-mie.com>



### お問合せ

#### 三重県交通安全研修センター

(セーフティプラザみえ)

指定管理：財団法人三重県交通安全協会

津市垂水2566 三重県運転免許センター4階

TEL 059-224-7721

# 出前研修のご紹介

※ 研修時間及び内容については、ご要望に応じてカリキュラムを作成いたします。



◎ 交通安全講話・ビデオ（子ども向け）◎  
安全な歩行、安全な自転車の乗り方等を学習します。



◎ 大型車（トラック）による死角を確認 ◎  
トラックの運転席から見えにくいところ（死角）を確認し、巻き込み事故の危険を学習します。



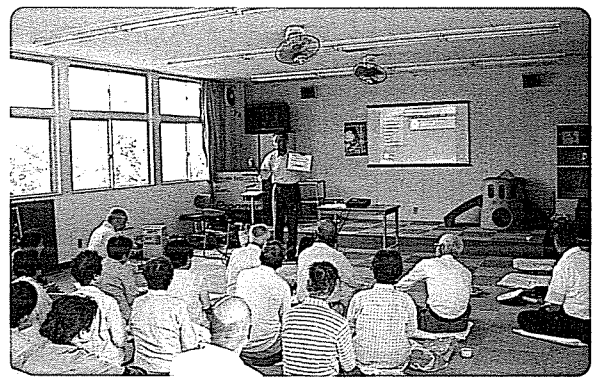
◎ 交通安全講話（一般向け）◎  
ドライバー等交通社会の一員として基本的なルールとマナーの大切さを学習します。（簡易型シュミレータを使用した学習も可能です）



◎ 自転車走行研修（技能・法規）◎  
安全な歩行、自転車の乗り方等を屋外模擬コースを使って学習します。



◎ 歩行研修 ◎  
道路における基本的な交通ルールを学習すると共に交通安全の大切さを学習します。



◎ 交通安全講話（高齢者）◎  
交通事故の発生状況から安全・快適に過ごす方法を一緒に考えましょう。

※ ダミー人形を使った飛び出し事故実験につきましては、研修場所により希望に添えないこともあります。ご相談下さい。

# 交通安全出前研修のご案内

三重県交通安全研修センターでは、「聞く・見る・体験する」をキーワードに、さまざまな対象の皆さんに応じた交通安全研修を実施しており、多くの企業、官公庁、団体、学校等が利用されています。

一般のドライバーの皆さんには、交通事故防止に向けての講話・視聴覚、シミュレーター機器を使用して危険予測や緊急回避を考える研修、実際に車に乗車しての狭路走行や急制動での危険回避、スラロームでのハンドル操作、滑りやすい路面でのブレーキ操作等を体験していただき、事故を防止するためにどうしたらよいかを身をもって考えていただく研修を行います。

また、高齢者の皆さんや子供たちには、安全な歩行や自転車の乗り方についての研修も準備しています。

しかし、「津市垂水の三重県交通安全研修センターまで出て行くのはちょっと無理」という皆さんのために、「親子交通安全教室」「高齢者のための交通安全教室」「飲酒運転防止講座」等センターのスタッフが地域に出向いて研修を行います。

必要に応じて、視聴覚機材や自転車等もこちらで準備することが可能です。研修会場の設定等で皆さんにご協力をお願いするほかは、すべて研修センターのスタッフがいきます。

**地域での出前研修は、すべて無料です！！**

お気軽にお問合せ、ご相談下さい。

## ① 研修できる日と時間

月曜日から金曜日まで、通常午前又は午後の30分から2時間程度

(研修内容により異なります。)

祝祭日・年末年始はお休みです

## ② その他

- このような内容に重点をおいてほしいというご要望があれば、対応可能なものについてはご相談に応じます。
- ホームページでも一部内容がご覧いただけます。

<http://www.safetyplaza-mie.com>

## お 問 合 せ

**三重県交通安全研修センター**（セーフティプラザみえ）

指定管理：財団法人三重県交通安全協会

津市垂水2566 三重県運転免許センター4階

TEL 059-224-7721

# セーフティ プラザ みえ

## SAFETY PLAZA MIE

(三重県運転免許センター内に併設)



● 聞く、見る、体験、楽しく学ぶ交通安全マナー ●

# 三重県交通安全研修センター

MIE PREFECTURAL CENTER FOR TRAFFIC SAFETY

# 三重県交通安全研修センター (セーフティプラザみえ) は

「安全で快適な郷土三重」を目指して、幼児から高齢者までを対象とした交通安全生涯学習施設です。

三重県における運転免許人口は、約125万人に達するとともに、自動車保有台数は約146万台を超え、本格的な「県民皆免許」・「車社会」となっています。

そうした状況の中、「安全で快適な郷土三重」を目指して、県民の交通マナーや交通安全意識の高揚を目的に幼児から高齢者までを対象とした交通安全生涯学習施設です。

この施設は、視聴覚教材、交通安全研修機器を備えた屋内施設、自転車走行、危険路におけるハンドル・ブレーキ操作などを体験する屋外施設からなり、「聞く」「見る」「体験する」という人間の5感に訴える3技法を組み合わせた学習法により、研修者が楽しみながら身をもって、交通ルール・マナーを学ぶことができます。

## 施設概要

●所在地／三重県津市大字垂水2566番地

●敷地面積／屋内施設 1,339.00m<sup>2</sup>  
屋外施設 12,821.63m<sup>2</sup>

●施設

- 屋内施設
  - 体験コーナー
  - 講習室 (60人用)
  - 視聴覚室 (60人用)
  - シミュレータ室
  - 事務所
- 屋外施設
  - 交通公園
  - 自動車コース
  - 四輪車体験コース
  - 多目的広場

●総事業費／約9億9千万円

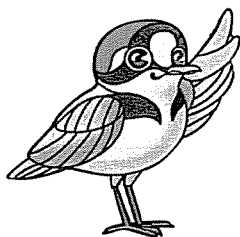
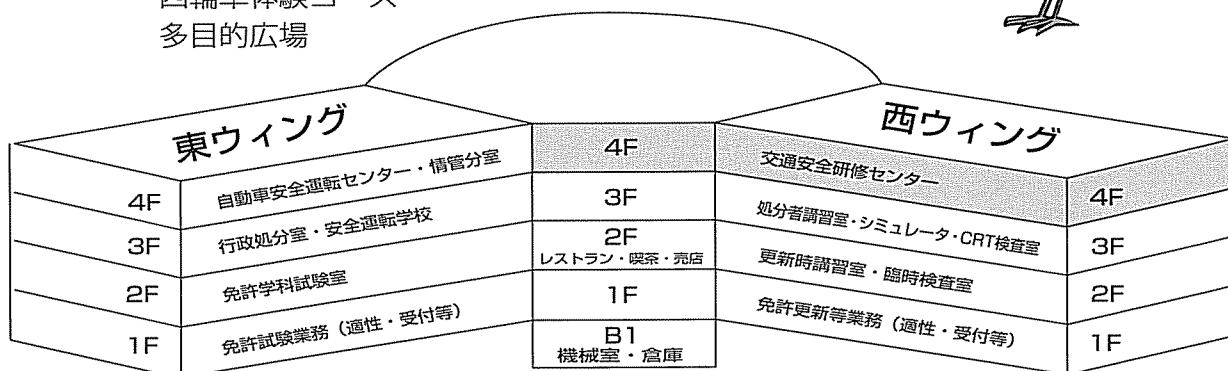
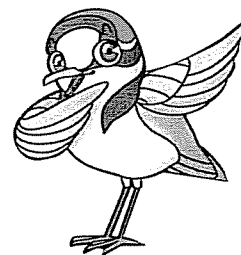
●展示機器費／約3億1千万円

●管理・運営／財団法人 三重県交通安全協会  
連合会 (委託)

●職員数 7名

●設置主体／三重県

●入館料／無料



### 運転免許センター概要

◆所在地 〒514-8518 津市大字垂水2566番地

◆敷地面積 約100,000m<sup>2</sup>

◆建物延面積

○庁舎棟 延べ約11,022m<sup>2</sup> (鉄骨平屋建て地上4階・地下1階)

○付属棟 車庫 延べ約1,060m<sup>2</sup> (鉄骨平屋建て)

二輪車置場 延べ約160m<sup>2</sup> (鉄骨平屋建て)

◆コース面積

○技能試験コース 延べ約40,500m<sup>2</sup>

○原付コース 延べ約2,000m<sup>2</sup>

○体験コース 延べ約7,100m<sup>2</sup>

○自転車コース 延べ約2,100m<sup>2</sup>

◆駐車場面積 延べ15,900m<sup>2</sup> (約500台)



# 6つのゾーンを拠点に、楽しく交通ルール・マナーが学習できます。

## セーフティ三重21

屋外施設案内や交通安全に関するビデオソフトが自由に見れるコーナーです。

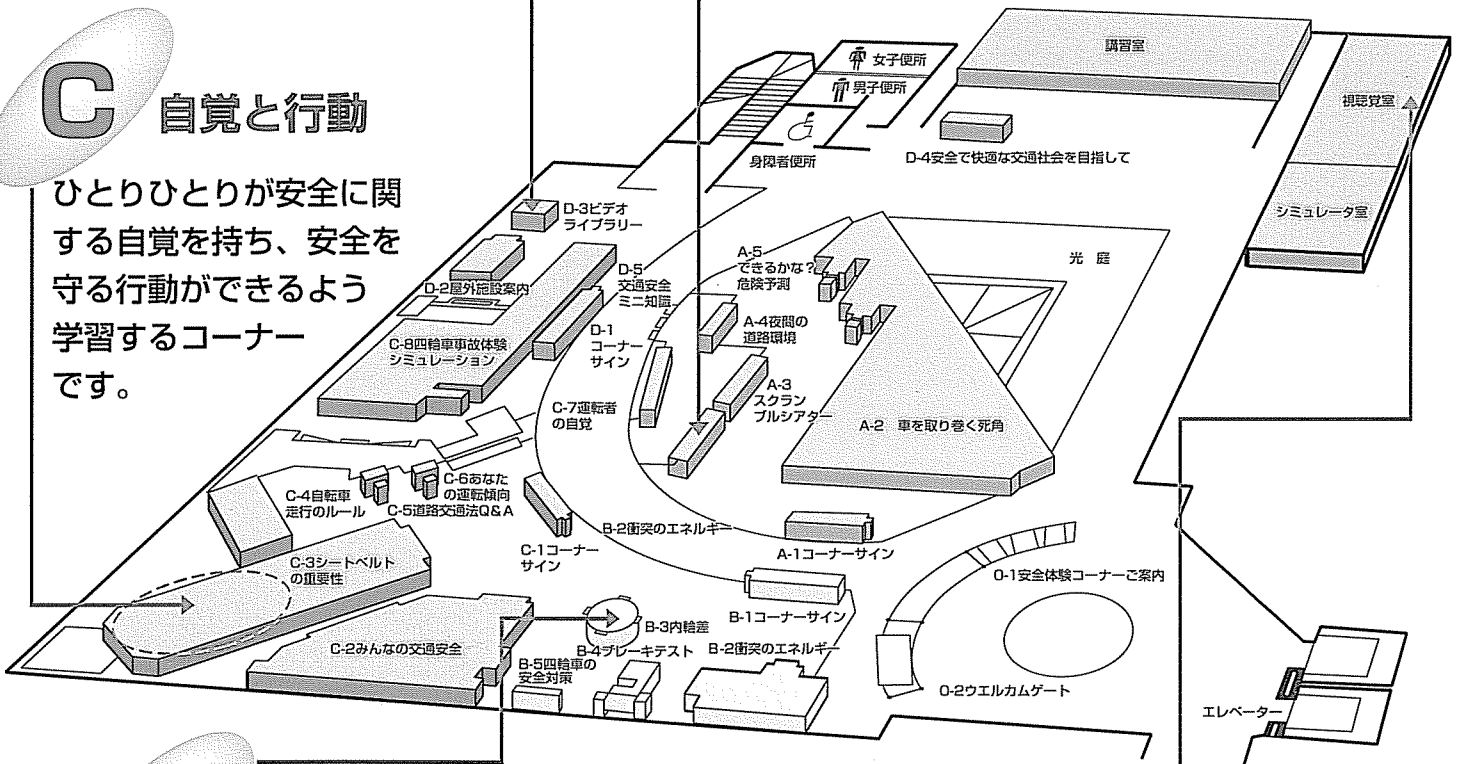
### D

### A

**交通環境に潜む危険**  
 普段の生活において、交通に関する様々な危険が潜んでいます。その危険について学習するコーナーです。

## C 自覚と行動

ひとりひとりが安全に関する自覚を持ち、安全を守る行動ができるよう学習するコーナーです。



## B 四輪車の構造と特性

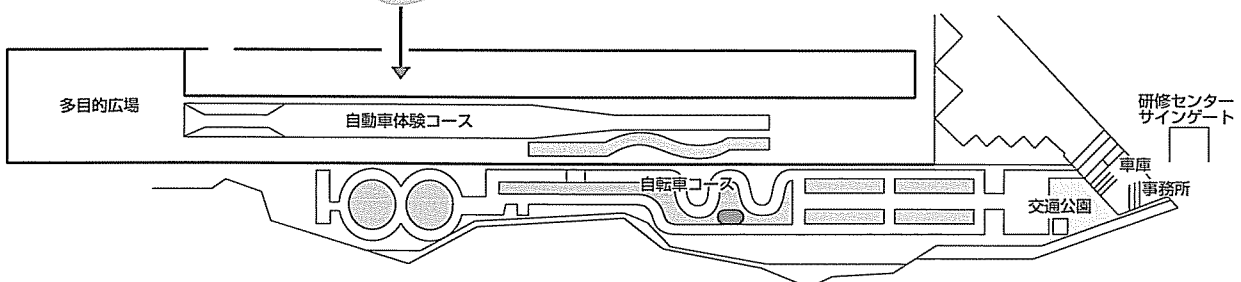
自動車に関する構造や特性を紹介し、どんな危険があるかを学習するコーナーです。

**研修施設**

講習室  
 視聴覚室  
 シミュレータ室

**屋外施設**

自動車体験コース  
 自転車コース  
 交通公園



# A

## 交通環境に潜む危険

普段の生活の中にある様々な交通に関する危険について学習しましょう。



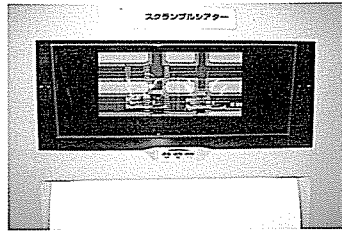
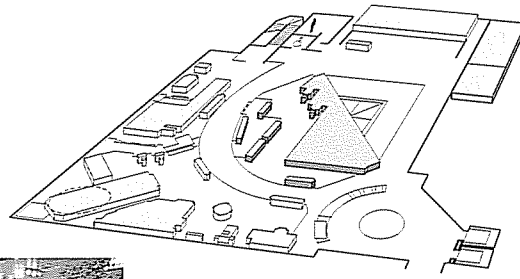
### 車を取りまく死角

停車中の乗用車の構造から生じる死角と、交差点での右方向の死角について、実車とマネキン人形を用いて学習します。車の背後で遊ぶことや交差点付近での飛び出し等を防ぐ効果が期待されます。



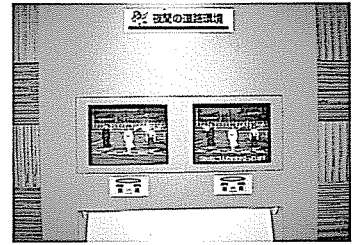
### できるかな？危険予測

タッチパネルとグラフィックパネルにより、交通環境に潜む危険箇所をすばやく見つけ、注意して通行することの重要性を学習します。



### スクランブルシアター

交差点付近の立体模型を用いて、自動車・二輪車・歩行者の動きを立体虚像システムにより解説しながら各々の危険箇所を再現し、交差点付近の左折時の巻き込み事故や右折時のサンキュー事故などの事故発生状況を学習します。



### 夜間の道路環境

2台のカラーモニターにより、夜間と昼間の走行風景を対比して、夜間の危険性を学習します。歩行者、自転車利用者に対し、夜間外出時の暗い服の色や無灯がいかにかに危険か認識させ、運転者に対しては安全速度を守ることの大切さを理解させることができます。

# B

## 四輪車の構造と特性

自動車に関する構造や特性を理解し、安全運転について考えましょう。

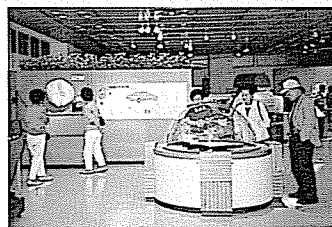
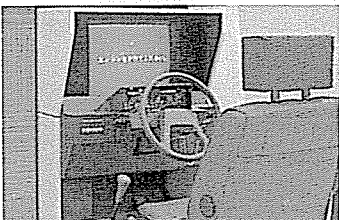
### 衝突のエネルギー

衝突の衝撃力をビルからの落下にたとえて、1/20のスケールの模型とCCDカメラの画像により、衝突のエネルギーの強さを学習します。走行中の車に接触すること、事故時の運転者に及ぼすダメージの大きさを実感し、いかに危険であるかを学ぶことができます。



### ブレーキテスト

ブレーキの反応体験装置（ドライビングシミュレータ）により、実際のブレーキ操作によって様々な危険があることを学習します。運転者は特に、その日の体調や集中力の差によって、道路上の障害物に対する認知・判断・操作に必要な時間が異なることを学びます。

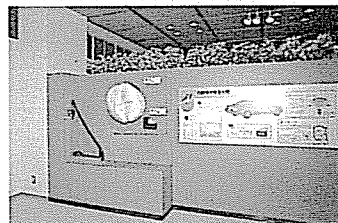


### 内輪差

トラックの模型と軌跡の電飾表示により、トラック等のホイールベースが長い車に生じる内輪差の仕組みとその危険性について学習します。運転者は内輪差を配慮した運転、歩行者は巻き込まれ事故の回避を学びます。

### 四輪車の安全対策

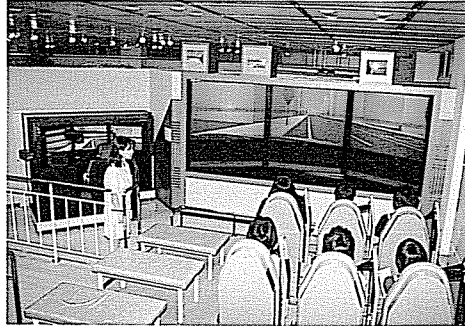
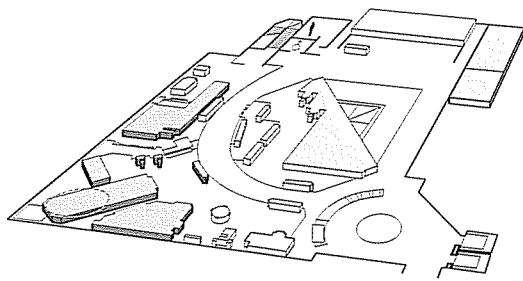
万一の際の事故回避又は被害を最小限にし、乗員の命を守るための様々な装置、エアバック・サイドインパクトバー・ABSシステムについて紹介し、それらの機器が安全に対していかに重要かを学習します。



# C

## 自覚と行動

ひとりひとりが安全について自覚し、安全な交通社会の実現目指して考え、行動しましょう。



### 四輪車事故体験シミュレーション

シアター形式のドライビングシミュレータにより、体験者と見学者が同時に事故を体験し、市街地走行における走行のポイントを学習します。四輪車の運転者が自覚を持った行動の実践ができるよう促します。



### 運転者の自覚

自転車・自動車の点検方法と市街地、特に交差点付近の安易な駐車による渋滞発生や死角による事故誘発について説明します。シアター形式のドライビングシミュレータにより、体験者と見学者が同時に事故を体験し、市街地走行における走行のポイントを学習します。



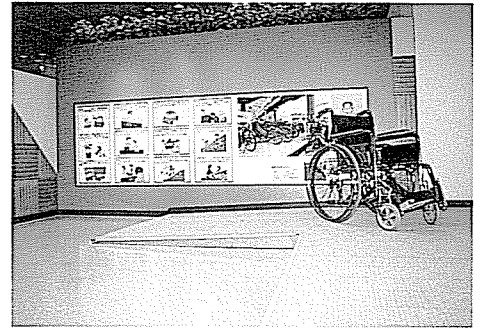
### 道路交通Q&A

パーソナルコンピューターによる質問と解説から、実用的な道路交通法を学習します。対象別に、子供用・ドライバー用・自転車用の3テーマに分かれて行い、正解数に応じた得点と評価も表示されます。



### あなたの運転傾向は？

パーソナルコンピューターによる質問と解説から、自分の行動や状況に対する気持ちの変化についてチェックし、普段意識することの少ない自分の運転傾向を把握します。その傾向を知って、常に意識することで事故を未然に防げることをアドバイスします。



### みんなの交通安全

パネルと実物の車椅子により、交通社会における助け合いの重要性を学習します。健常者だけでなく、車椅子利用者や盲人等様々な人が安心して利用できるようなお互いが協力し、思いやりの心を持って助け合うことの大切さを理解できます。



### シートベルトの重要性

クラッシュカーと映像によりシートベルトの着用の有無が生命を守るうえでいかに重要であるかを体験し、着用の必要性を学習します。運転者・同乗者の自覚としてシートベルトの着用を習慣づけることを確認させます。



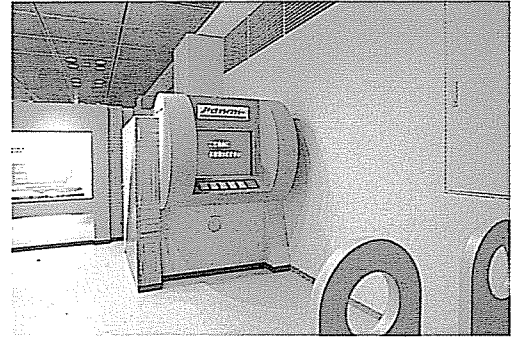
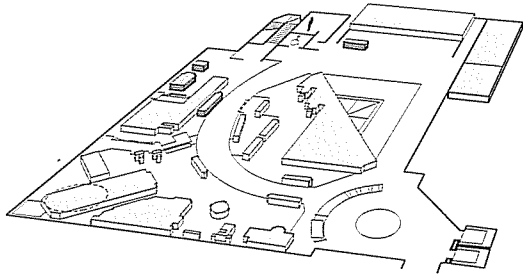
### 自転車走行ルール

自転車シミュレーション装置により、状況に応じた正しい自転車の乗り方を学習します。主な対象は小学生が中心で、守らなければならない基本的ルール(安全な乗車の知識や態度)を身につけることができます。

# D

# セーフティ三重21

交通安全情報などを提供するコーナーです。

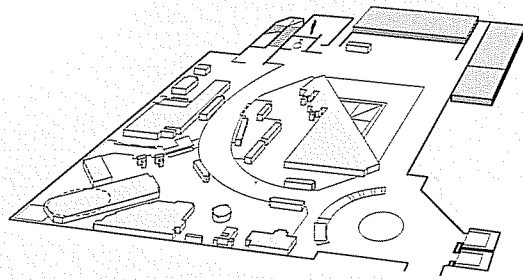


## ビデオライブラリー

三重県における各種交通安全対策への取り組み及び行事を記録した映像と、交通安全教育ソフトを自由に見ることのできるビデオライブラリーです。

## 安全で快適な交通社会を目指して

三重県における各種交通安全対策や道路整備計画、モータースポーツイベントなどの情報の提供、生活課交通安全室での行事案内やお知らせなど、「セーフティ・マイタウンみえ」に対する様々な取り組みを随時紹介します。



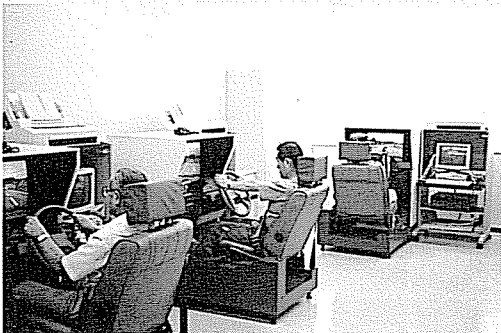
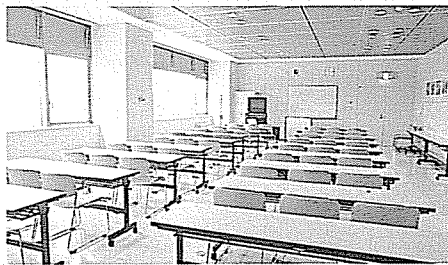
## 研修施設

# 研修施設

視聴覚機器や、シミュレーション機器を活用し、交通安全に関する研修を実施する施設です。

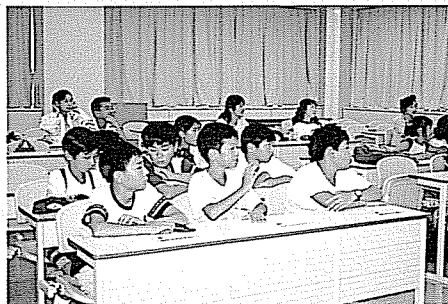
## 講習室

研修のオリエンテーションなどに利用できる施設です。



## シミュレータ室

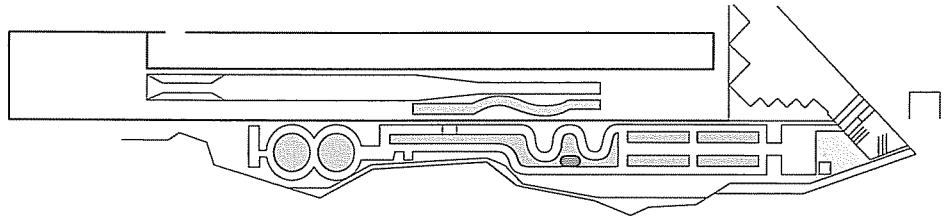
高齢者及びドライバーを主な対象とし、ブレーキ反応テストによるチェックや自分の運転特性を認識できる機材により、自身の運転傾向を学習する施設です。



## 視聴覚室

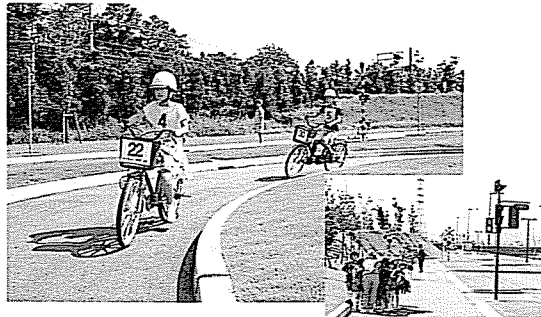
視聴覚機器（LD、OHP、アナライザー等）を利用した交通安全ソフトにより、交通社会への安全について学習する施設です。

# 屋外施設



# 屋外施設

屋内の体験コーナーで学習したあとは、屋外に出て自転車・自動車に試乗して、実体験学習をしましょう。



## 自転車コース

子供達が遊びながら学べる自転車コースです。実際に自転車に乗り体験しながら学習できます。



## 交通公園

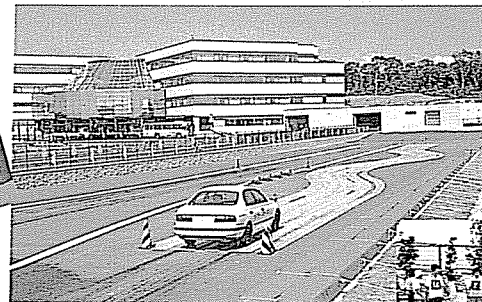
簡単な遊具を設置した公園です。子供達の遊び場となる場所です。

## 自動車体験コース

実際に自動車に乗りながら、急ブレーキ操作や滑りやすい路面と、わだち路面走行を体験するコースです。



●スキッドコース  
自動車2台を用意し、スリップ路面での走行を体験します。



●わだちコース  
わだちができたコースを体験し、危険から回避走行を学習します。



## 交通安全教育カリキュラム紹介

■対象別にカリキュラムを組んで交通安全指導を行います。

### 主な内容をご紹介します。

#### ■ 幼児から高校生まで…善良な交通社会人、運転者を目指した安全学習

- 保育園・幼稚園児…交通ルールの初歩を学び、道路が安全に歩けるようになります。
- 小学生低学年…交通ルールと危険について学習し、安全な通行が出来るようになります。
- 小学生高学年…自転車の交通ルール・マナーを学び、安全運転能力を高めます。
- 中学生…自転車の点検技能、危険予知能力を養い、安全運転能力を高めます。
- 高校生…将来の運転者及び、交通社会人としての交通ルールとマナーが身につきます。

#### ■ 高齢者・身体障がい者教育…交通社会の中で、交通弱者の立場に立った安全教育

- 高齢者…交通ルール・マナーと高齢者の特性について学び、交通事故から身を守る能力を養います。
- 身体障がい者…道路交通情報を知り、安全施設の利用活用を学ぶとともに、交通事故から身を守る能力を養います。

#### ■ 運転者教育…運転免許取得者を対象とした安全教育

- 一般…交通ルール・マナーについて再確認するとともに、自己の運転特性を知ることにより、安全運転を育成します。
- 安全教育指導者…それぞれの目的に応じて特別メニューを組んで学習を行います。

# セーフティプラザみえ

## 利用方法

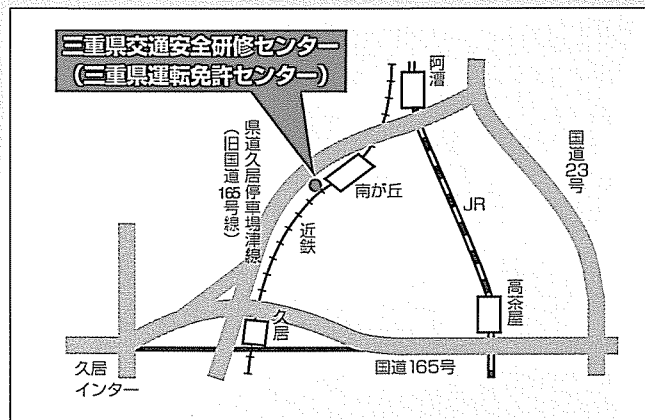
### (1) 団体利用の場合

- 利用日＝月曜日～金曜日まで
- 予めお電話にてお申し込みください。

### (2) 個人又は小グループの場合

- 利用日＝日曜日～金曜日まで
- お気軽にご来場ください。

TEL 059-224-7721  
FAX 059-224-7641



## 交通の便

### (電車利用)

- 近鉄名古屋線南が丘駅下車徒歩10分

### (自動車利用)

- 国道23号線津市西阿漕町交差点から県道久居停車場津線(旧国道165号線)で久居方向へ約2 km
- 伊勢自動車道久居ICから国道165号線で津市方面へ約3.5 km

## 開館時間

- 午前9時30分から午後4時30分まで 日曜は午前8時00分から午後4時30分まで

## 休館日

- 毎週土曜日及び祝日
- 年末年始(12月29日から1月3日)

# セーフティ・マイタウンみえ



三重県交通安全シンボルマーク

～安全は心にゆとりと思いやり～

三重県津市大字垂水2566 TEL059-224-7721 FAX059-224-7641

## 研修対象別交通安全教育カリキュラム

### 1 メニュー

幼児                      小学校（低学年）                      小学校（高学年）                      中学生                      高校生  
高齢者（歩行・自転車）                      高齢ドライバー                      一般ドライバー  
身体障がい者                      外国人

### 2 カリキュラムの例

小学生（低学年）に対する交通安全教育

#### 研修の目的・目標

- ・ 道路を通行する者の基本的な心構えの確認
  - ・ 歩行者としての基本的な交通ルールとマナーの習得
  - ・ 初歩的な自転車の乗り方の習得
- 上記を通じ安全意識の高揚を図り、事故防止に努める。

#### 研修の内容

##### 視聴覚室・講習室

- ・ 子どもの交通事故の話（交通安全講話）
- ・ ビデオを使った道路の渡り方、自転車の乗り方
- ・ 雨天時や夜間の危険性

##### 展示ゾーン

- ・ 四輪事故体験シミュレーションを使った事故体験
- ・ 展示機器を体験  
シートベルト、チャイルドシート、ジュニアシートの重要性、交差点の危険性、  
夜間の視認性、内輪差、死角、道路交通法クイズ、車椅子体験等

##### 自転車コース

- ・ 交通信号の見方
- ・ 道路の安全な歩き方、渡り方  
信号機のある交差点・ない交差点、横断歩道のない場所、安全確認の方法、飛び出しの危険性、一時停止の必要性
- ・ 初歩的な自転車の乗り方

##### シミュレータ室

- ・ 自動車のブレーキ反応体験（小学生 高学年）

##### 自動車体験コース

- ・ 人形による飛び出し事故の実演（トラックを使った実演）

## 一般ドライバーに対する交通安全教育

### 研修の目的・目標

- ・ 自己の運転特性の認識
- ・ 安全運転に必要な技能と知識の理解を深める
- ・ 危険予測と悪条件下における緊急時の操作の習得  
上記を通じ安全意識の高揚を図り、事故防止に努める。

### 研修の内容（利用設備・機器）

#### 視聴覚室・講習室

- ・ 交通事故の概要
- ・ 高齢者等交通弱者への対応
- ・ 運転者の責任、道路交通法
- ・ 自転車のバランス体験と自転車への対応
- ・ 道路交通法等テスト

#### 展示ゾーン

- ・ 四輪事故体験シミュレーションを使った事故体験
- ・ 展示機器を体験  
交差点の危険性、夜間の視認性、道路交通法クイズ、車椅子体験等

#### シミュレータ室

- ・ 危険予測と緊急回避

#### 自動車体験コース

- ・ 日常点検
- ・ スキッドコース体験
- ・ 急制動体験
- ・ 狭路走行、轍走行

参加回数等研修対象者に応じ、研修カリキュラムを調整・整備し、毎年研修に参加することにより、高い交通安全意識を身につける。

#### 自動車体験コース〔実車体験〕(重点項目)

正しい運転姿勢の徹底（運転姿勢の違いによりABS効力の差を体験し、正しい運転姿勢の重要性を学ぶ。）

轍走行（目線の配り方、車両感覚を身につける）

冠水した轍の走行（雪道の体験）

日常点検

狭路走行

シートベルトの重要性（正しい着用と効果を後部座席で体験）

#### シミュレータ室〔参加回数別〕

「危険予測と緊急回避」シミュレータ体験

危険場面での操作（ハンドル右、左、ブレーキ）及び反応速度

シミュレータの使用（18の場面の組み合わせ）

四輪事故体験シミュレータ

#### 講習室〔酒酔いゴーグル体験〕

- ・ 参加回数2回目を対象

#### 道路交通法等の問題と解答

- ・ 参加回数3回目以上を対象



## 高齢者（歩行者・自転車）に対する交通安全教育

### 研修の目的・目標

- ・ 高齢者の交通事故の特徴と危険性についての理解
  - ・ 身体機能の低下が行動に及ぼす影響の認識
  - ・ 交通ルール等の理解を深める
- 上記を通じ安全意識の高揚を図り、事故防止に努める。

### 研修の内容（利用設備・機器）

#### 視聴覚室・講習室

- ・ 高齢者の交通事故の話（交通安全講話）
- ・ 道路交通法の概要

#### 展示ゾーン

- ・ 四輪事故体験シミュレーションを使った事故体験
  - ・ 展示機器を体験
- 交差点の危険性、夜間の視認性、衝突のエネルギー、道路交通法クイズ、車椅子体験等

#### 自転車コース

- ・ 安全な歩行（信号の見方、安全確認の方法、道路横断方法）
- ・ 自転車の安全な乗り方
- ・ 電動車いすの安全な乗り方

#### 自動車体験コース

- ・ 自動車の特性
- ・ 自動車の急制動体験

## 高齢者（ドライバー）に対する交通安全教育

### 研修の目的・目標

- ・ 高齢ドライバーの交通事故の特徴と危険性についての理解
- ・ 身体機能の低下が行動に及ぼす影響の認識
- ・ 交差点の危険性及び悪条件下における緊急時の操作の習得  
上記を通じ安全意識の高揚を図り、事故防止に努める。

### 研修の内容（利用設備・機器）

#### 視聴覚室・講習室

- ・ 高齢ドライバーの交通事故の話（交通安全講話）
- ・ 運転者の責任

#### シミュレータ室〔参加回数別〕

「危険予測と緊急回避」シミュレータ体験

危険場面での操作（ハンドル右、左、ブレーキ）及び反応速度

おじいちゃんの名ドライバー ～高齢ドライバーの運転傾向～

#### 展示ゾーン

- ・ 四輪事故体験シミュレーションを使った事故体験
- ・ 展示機器を体験  
交差点の危険性、道路交通法クイズ、車椅子体験等

#### 自動車体験コース

- ・ 高齢者の運転特性 ・ 自動車の特性 ・ ブレーキ操作訓練 ・ 狭路走行
- ・ 急制動体験 ・ スキッドコース体験

高齢者の場合は、自ら繰り返し体験し、身につけることが重要であることから、参加回数にかかわらず同じ研修カリキュラムによる研修を行い、継続して参加することにより効果を高める。

#### 自動車体験コース〔実車体験〕（重点項目）

正しい運転姿勢の徹底（運転姿勢の違いによりABS効力の差を体験し、正しい運転姿勢の重要性を学ぶ。）

高齢者の運転特性を認識（身体能力の低下等）

自動車の特性の再認識（死角、内輪差等）

シートベルトの重要性（正しい着用と効果を後部座席で体験）

狭路走行

#### シミュレータ室〔参加回数別〕

「危険予測と緊急回避」シミュレータ体験

危険場面での操作（ハンドル右、左、ブレーキ）及び反応速度

おじいちゃんの名ドライバー ～高齢ドライバーの運転傾向～

ハンドル操作、反応速度、ハンドル操作と反射速度の複合動作についてシミュレータ体験

## 交通安全研修センター利用者の声（研修センターホームページから抜粋）

### 1 小学生以下の利用者の声

このところにきてとてもよかったです。ここはいいな、ためになるな、と思いました。また、きたいです。

わたしは、車いすのたいけんコーナーがべんきょうになりました。さかみちや、くだりみち、車いすの人のきもちがよくわかりました。すごくてのしかったので、またきたいなと思いました。またいっぱいいろいろたいけんしてみたいです。（小学校1年 Jさん）

事故の衝撃がわかりました。それと車の陰からは、人が見えないことが分かった。これから気をつけることは、車の陰から飛び出さないことです。（小学校2年 Y君）

私は、ブレーキテストでブレーキがあんなに難しいとは思いませんでした。ゆれるのも、5キロであんなにゆれてビックリしました。自転車で、右には足をついてはいけない、自転車では、左から乗るなどいっぱい覚えました。手を上げて右、左確認して渡っても「手あげやんでいいんや」とお兄ちゃんに笑われます。でも、自分の命が守られるので悪いことじゃないと思います。だから、交通安全は守ろうと思います。（小学校3年 Sさん）

研修センターに行って、一番楽しかったのは自転車でした。一本橋とガタガタ道も出来てジグザグコーンも出来て良かったです。ぼくは、あれから自転車の乗り方をちゃんとしています。（小学校4年 Yさん）

研修センターに行って、自転車のあぶない事がよくわかりました。ちびまる子ちゃんのテレビもよくわかりました。体験コーナーのときも、四輪事故体験で「ドンッ」となったので、びっくりしました。あと、車の周り（車の死角）に6人もいるのに、運転席から見ると2人しか見えなかったです。だから、わたしは、車の周りでは遊ばないように気をつけたいです。自転車に乗ったとき、わたしは上手く出来なかったです。これからも自転車のときも歩いているときも「右見て、左見て、後ろ見て」をしたいなと思いました。楽しかったです。（小学校4年 Tさん）

ぼくは、自転車に乗る時いつも右がわを走っていました。研修センターに行って、自転車が通る道は、左がわということがわかりました。事故は、あったことがないけど、こわいことがわかりました。信号機が青になったら、すぐわたるのではなく、右左見てわたるということがわかって勉強になりました。（小学校4年 Iさん）

楽しく学ぶことができました。シートベルトの大切さや、自転車の安全な乗り方など、色々なことがわかりました。友だちを誘ってまた来たいと思いました。

### 2 社会人の利用者の声

運転免許を持たない母と来ました。運転する者の気持ち、歩行者の気持ち、お互い違う目で見てるのだという事が良く分かる。免許を持っていない母に車を運転する怖さを少しは分かってもらえたのかなぁ... 今回は、全てを体験しなかったなので、また、次回来たいと思います。ありがとうございました。

数年前にこの研修を受けて、ためになったと感じていましたが、今回受けてみて安全に対する気持ちが緩んでいると思いました。

「又、注意しているから大丈夫」とか、100%安全はないのだということを常に意識していかなくてはならないと思いました。又、今後も定期的にこの研修を受けたいと思います。

日頃、頭で色々考えていることであっても、実体験をすることによって、より明確に交通安全について考えることが出来ました。四輪車に乗らせてもらったの、急ブレーキ・ハンドル操作の体験は初めてであり、身をもって危険が感じられました。どうもありがとうございました。

時々片手運転の癖があるので、この研修でもしてしまい、指導員に片手運転でのスラロームを走行してみてくださいと言われて実践してみたが、全くできませんでした。急なハンドル操作には、両手の必要性を改めて感じました。また、運転姿勢を今後気をつけなければいけないと感じました。

通常の運転では、あまり体験のできないことをこの研修で受けることが出来ました。いい経験になり、考えることがたくさんありました。

年齢的経験数からして運転中、少々不安を感じることもあり、また、反射神経の減退に対し、今後、安全運転が維持できるよう再度受講したいと思います。

日常、急ブレーキを踏むことがなく、いざとなったとき対応できるか？でしたが、今回の研修にてブレーキの踏み方が甘いことがわかり、車間を十分開ける必要があることを確認できてよかったと思いました。

私が普通自動車免許を取得したのは23歳で今から30年前になりますが、当時の自動車学校においても今回の研修センターのような貴重な経験はさせてもらえませんでした。時代が変わったといえばそれまでですが、

- ・ 速度を維持してのポール通過
- ・ 乾車道時の急制動テスト
- ・ ぬれた車道の急制動テスト
- ・ 障害物（ポール）をジグザグ走行テスト

しかも、一回目乗車後批評をいただいてさらに二回目乗車で一回目の欠点を補うことができました。今まで漫然と運転していましたが、ドライバーの心構え、急制動時の対応の仕方、路面状況による速度判断、安全運転の秘訣など知らなかったことをご指導いただき、すぐにでも自分の運転に取り入れたいと思いました。

今回の研修で、改めて自分の運転を見直すと、教習所で習ったことを忘れていました。初心に戻って、安全運転を心掛けたいと思います。

また、展示室に交通事故で亡くなった子どもたちの家族の文章が紹介されていました。少しの油断でこうした不幸を起こさないよう、安全運転を心掛けたいです。

急ブレーキやスリップするという経験は、今までにしたことがなかったのでごく怖かったです。事故に巻き込まれているわけでもないのに、ブレーキをおもいきり踏み込むというのはと

でも勇気が要りました。でも、この勇気が大切なことなんだということ、この体験をすることにより、知ることができてすごくよかったです。

シミュレーターを使用し、事故の起こりやすい状況で正しい判断ができるかどうか体験した。自分が思っている以上に俊敏さや周囲への注意力に欠けており、ちょっとした気の緩みが大変な事故につながるということであらためて感じた。今回の研修を今後の運転に生かしていきたい。

免許をとってから約4年となり、車の運転に慣れがでてきて、油断することも多くなってきた。今回研修に参加したことで、危険が潜んでいる場面でどのようなことが起こるのかという予測の大切さをもう一度確認することができた。スピードの出し過ぎや無理な運転はせず、歩行者第一を考えたゆとりある運転を心掛けたい。普段はめったにしない急ブレーキを体験したことで、車は停止するまでに予想以上に時間がかかるということを確認することができた。また、濡れた路面でのABSの有無による車体操作などは、なかなか経験することがない貴重な体験であった。今回の研修で、安全への意識を高めることができた。実際に車を運転し、体感することで、どうなるのかということを知ることができた。今後の運転にプラスになると思った。この研修にまだ参加したことがない人も積極的に参加するべきだと思う。

古い、操作しづらい。プリントがずれて判読しづらい。実情に遠い、より実車に近づけてほしい。研修の意義はあるが、今のシミュレータの機能にやや問題がある。

### 3 団体（会社法人、学校、町内会等）利用者の声

「四輪事故体験シミュレーション」や「ダミー人形を使用したの飛び出し事故実演」は、幼児に見せるには怖いようでもあるが、幼児にとってとてもわかりやすく印象づけられるものである。

実際の公共施設で担当の人に指導してもらったり、園で体験できないことをさせてもらうことは、幼児にとってとても良い体験だと思います。（公立O幼稚園）

子どもたちに理解しやすい交通安全教育の内容であったと思います。特に、安全な歩行の実施や補助輪つき自転車の基本的な方法を学ぶことなどは良く、その後も家庭での話す機会となったようです。就学前の園児ですので、自分で身を守る方法を知る場として、研修センターでしっかり学んでいきたいと思っています。（私立S幼稚園）

車の運転席からは、車の近くにいる人物が見えにくいことが分かり、車の周囲で遊ぶ危険性について、園児たちに知らせることができてよかったです。一人一人に、丁寧に道路の横断の仕方を指導して頂き、大変嬉しく思っています。次回は、自転車指導もお世話になりたいです。

（T幼稚園）

普段、園ではできない事故の体験等ができ、シートベルトの大切さや、着用の仕方についても教えていただき、楽しく学べたようで良かったです。暗い道を歩く時の注意点や、反射材についても学べ、とても参考になりました。（S幼稚園）

研修後には近くのバス停前の横断歩道でも手を挙げて左右の確認をして渡るなど、子どもたちの交通安全に対する意識も深まったように思います。これが継続できるよう支援していきたいと思っています。（障害児学校小学部）

研修内容が前回よりもわかりやすく改良されていて、危険についてよくわかった。自転車の乗り降りの仕方をていねいに教えてもらえた。体験を通して楽しく学習できた。( K 小学校)

トラックの死角の危険性や、自転車走行時のヘルメットの着用の大切さがよくわかりました。子ども達に交通事故の恐ろしさも伝わり、何気ないことが事故につながる事が理解できました。また、目を見ながら、子ども達の反応にもこたえていただき、参加型の学習はとてもよかったです。( M 小学校)

ダミー人形の飛び出し実演は、子ども達にとって衝撃的だったようです。自転車やダンボールの車を使って説明をしていただいたので、わかりやすかったです。自転車に乗る時はヘルメットをかぶること、左側から乗り降りすることなど参考になりました。また、ヘルメットを持っていない子どもがまだ多いので、ヘルメットのかぶり方を教えてもらったことがよかったです。( H 小学校)

「何のために、そういうルールがあるの?」という疑問にわかりやすく答えてもらいました。ヘルメットをかぶるなど、わかっているかもしれない子どもがいたり、自転車の右側走行をする子どもがいるので、その危険性が少しでも理解できたと思います。特に低学年から中学年の反応が良く、楽しんで学べました。今回初めて研修をお願いし、とても子ども達が理解しやすかったです。今後お願いしたいと思いました。( S 小学校)

自転車の基本的なルールや点検等、自転車全体を教えていただけで良かったです。スラローム走行や傘さし運転等の危険な乗り方、自転車事故の多さの講話は、今後の交通安全教育の参考にしたいと思いました。実技で難しいと感じた部分もあったようですが、楽しくできたという生徒が多かったです。( H 中学校)

いつもお世話になるのは、高校3年生の進路決定者です。「これから免許取得をと考えている生徒にとってとても良い経験だと思った。校内での安全教室も必要だが、疑似体験ができるのが良い。頭だけでは学べない学びがあると思った。」( S 高等学校)

過日の子供会研修では大変お世話になり、誠にありがとうございました。天候不順なところ、屋外での研修において早朝から心配いただき、又、研修内容においても、より充実したものとなるよう柔軟にご配慮下さり、子どもも保護者も積極的に研修することが出来ました。その上、異例の日曜日という身勝手なお願いにも関わらず、スタッフ皆様が温かく迎えてくださったことに心から感謝申し上げます。研修センターを利用させていただく機会を是非、再び設けたいと思います。又、よろしくご指導ください。( K 町子供会)

弊社では、20歳代の若者を中心に派遣させていただいています。研修終了後には、弊社でも独自にアンケートを実施していますが、自動車学校で学んだ安全運転の復習だけでなく、交通社会に出て役立つ実践的な研修も受講させていただいているため、すべての者が好印象を持ったと回答しています。( 民間企業)

自動車は便利なものですが、運転の仕方により加害事故を起こす凶器にもなるので、自動車の「こわさ」を教える実技指導が交通事故防止に有効だと思います。( 民間企業)